

# デジタルを事業者と一緒に実践した3年間の持続的発展支援

支援機関 保内町商工会 支援内容 機械導入による生産効率化とデジタルを活用した収益向上 支援区分 IT活用

## みかん屋 太陽と海

事業者概要

社名/みかん屋 太陽と海  
 代表者名/代表 二宮 喜明  
 業種/果樹作農業・無店舗小売業  
 所在地/八幡浜市  
 設立/平成26年  
 従業員数/1名



柑橘写真

### 支援に至る経緯

#### ■安定した収入確保と廃棄率低下の課題解決支援

支援事業者は八幡浜市在住で、先祖代々の1ヘクタールの農地を夫婦で栽培する兼業農家。就農当初はみかんや伊予柑を系統出荷していたが、安定した収入と廃棄率の低下という課題があり、平成29年から「みかん屋 太陽と海」という屋号でネット販売事業を開始。生産直販サイト等で商品販売を行い、SNSで情報発信を実行していたが、持続的な発展をするため、会員事業所の紹介で支援を開始することになった。

### 支援内容

#### ■農家直送体制の確立と顧客基盤の強化

令和3年9月より支援開始、現状分析を実施、商品の発送工程に優先課題があることが判明。課題を解決するため、10月に令和元年度補正小規模事業者持続化補助金一般型に採択されたが、新たなビジネスモデルを検討するため補助事業実施を中止した。

令和4年3月より見込み顧客を獲得するため、Instagram運用支援を開始、Canva等の投稿作成アプリの操作指導を実施。5月に、「イノベーションマトリックス」を活用し、新ビジネスモデル設計を支援、6月に愛媛県新ビジネスモデル展開促進補助金を申請し採択、贈答用ブランド立ち上げおよび調達・生産工程の効率化のため、オリジナル段ボールの試作品開発および半自動で梱包作業をする機械装置の導入を実施した。また8月にリードナーチャリングのため、LINE公式アカウント運用支援開始、動画コンテンツ作成操作指導等を実施、10月に八幡浜市のふるさと納税登録担当職員と連携しながら、登録を支援、11月にやわはま産業まつりで商工会販売の福袋に商品とチラシを同封し事業所PRも実施。12月に「柑橘食べ方動画」を作成、LINE公式アカウントで公開した。

令和5年4月に柑橘ジュースのブラッシュアップのため、県内のショッピングモールで来場者130名に試飲アンケートの調査を実施し事業主にフードバックを行った。また11月には、年間を通して柑橘を楽しんでもらうため、グラフィックデザインツールを活用して作成し、商品配送時に同封した。

### 支援の効果

#### ■梱包作業の生産効率アップ

- ・1分間の段ボール封函効率5個→15個
- ・1分間の段ボール作成効率3個→9個

#### ■発送アイテムの増加

- ・3種類のオリジナル段ボール試作開発品の商品化
- ・4商品PR チラシ・パンフレット作成

#### ■ふるさと納税

- ・納税サイトのトップページ掲載によるサイト訪問者へのPR
- ・令和4年分の売り上げ構成の20%程度獲得

#### ■Instagram

- ・令和5年12月時点で57投稿、フォロワー数340人、エンゲージメント率14.4%

#### ■LINE公式アカウントの有効活用

- ・前年同月比対比150%増加の令和6年1月時点150人
- ・公式アカウント内限定商品発売による利益率5%向上
- ・画像や動画投稿による園地のファン化

#### ■年間購入数

- ・リピート購入率が支援前対比60%増加
- ・1顧客あたりの年間購入回数が支援前対比40%増加

### 今後の展開

- ・手を伸ばせば届くような目標設定での中長期計画の作成
- ・デジタルを活用した販促活動支援
- ・農地を身近に感じてもらえるコンテンツ作成アドバイス

### 事業者の声

ネット販売に関するスマートフォンなどの操作アドバイスを聞きながら動画作成などを実施し販売環境を整えることができました。今後も将来のビジョンを実現するため、商工会さんとお話しを通じて、コツコツと取り組んでいきたいと思っています。

国や愛媛県さんの施策も活用させていただき、大変ありがとうございます



### 支援者の声

代表者は、大切に育てられた柑橘を多くの方に楽しんで頂きたいとの思いで、苦手な分野であるITにもコツコツと実践されており、試行錯誤をしながら取り組んでおられます。支援者として分からないことも多いですが、チームえびすの構成員様と連携しながら、柑橘の魅力向上につながる支援を実施したいです。



保内町商工会 経営指導員  
近藤 智弘